

## 保証

- 保証期間は、お買い上げの日から3ヶ月とします。
- 故障の場合は、お買い上げの販売店または当社にご連絡ください。
- 無償修理は、当社にて現品を確認し、保証期間中、且つ商品の不良であれば対応いたします。
- 下記の場合は、保証期間中でもお客様のご負担（有償修理、有償点検）となります。
  - ・取扱説明書の注意事項を守らなかったことによる故障および損傷
  - ・お客様の取扱上の不注意による故障および損傷
  - ・お客様の使用環境や設置場所による故障および損傷
  - ・指定外の気体などの使用、または天災、地変（火災、地震、水害、塩害、落雷、公害など）による故障および損傷
  - ・消耗による故障
  - ・色材の固着や溶剤によって破損した故障および損傷
  - ・純正部品以外の部品が使用されている場合
  - ・当社指定の修理店以外による修理がされている場合
  - ・お客様により、商品の改造がなされている場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.
- 警告、注意の表示を無視して使用した場合の損害については、当社は一切責任を負いません。
- 製品の不具合による生産補償、営業補償等の二次的損失の補償は一切いたしません。
- 本製品は、ホビー向けとなっております。プロユーザー向けではございません。
- 販売店が発行する証明書（販売証明書・レシートなど指定のもの）を本、取扱説明書と共に大切に保管してください。

## ◆ 修理サービスについて

修理を依頼されるときは

- 修理はお買い上げの販売店又は当社にご相談ください。  
この時にお買い上げの製品の形式名およびお買い上げの時期をお知らせください。
- 修理品をお渡しの際は、本書も合わせてご持参ください。販売店、販売時期の確認を行いません。
- 保証期間内でも、製品に不具合なき場合は、有償にてご対応させていただきます。  
初期不良がない場合の送料はお客様のご負担となります。修理依頼品は、お客様の所有物となりますので、必ず返却させていただくことになります。
- 詳しくはお買い上げの販売店にご相談ください。  
その他ご不明な点は当社へお気軽にお問い合わせください。

形式	CHST-02
購入先	
購入年月日	年 月 日

※ご使用前に空欄に必要事項をご記入ください。修理の際に必要となります。

製品に関するお問い合わせ・ご意見・ご希望などございましたら、当社までご連絡ください。

# アネスト岩田キャンベル株式会社

〒223-8501 神奈川県横浜市港北区新吉田町3176 TEL045-591-1108 FAX045-594-1931

## 取扱説明書



- 製品の取扱い、修理、保管を行う前に必ず取扱説明書をお読みください。
- すべての安全に関するご案内をお守りいただき、安全にご使用ください。
- 取扱いの警告に従わない場合、人的な傷害や所有物の損傷の原因となります。
- この取扱説明書は、いつでもご覧いただける場所に大切に保管してください。

## ■ 商品の特長 ■

このエアータンクは自転車用空気入れ、またはエアブラシ用コンプレッサ（MX6011など）、エアブラシなどの機器が必要です。別途ご用意ください。

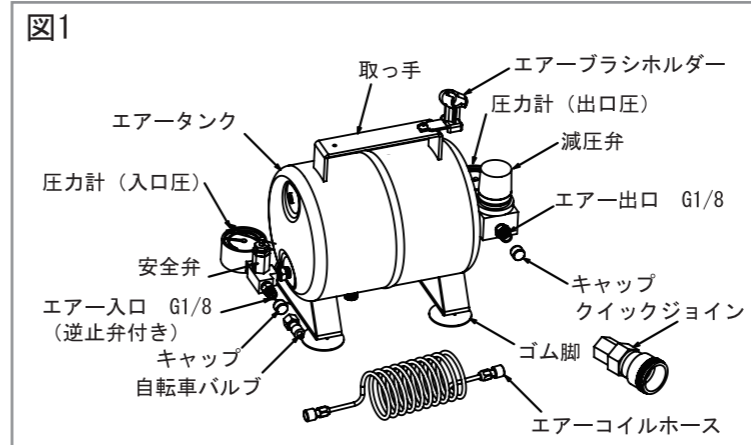
- エアブラシ塗装などが、電気・電池が無くても出来ます。
- コンプレッサ接続の場合
  - ・脈動防止・ドレン（エアー中の水分）除去による塗装品質の向上
  - ・発停回数低減によるコンプレッサへの負荷低減

※本製品はホビー向けです。上記の特長はコンプレッサの長寿命化や塗装品質を保証するものではありません。

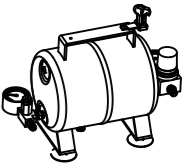
## ■ 開梱時の確認 ■

開梱の際、輸送途中に損傷を受けていないか、ご確認ください。

梱包内容	エアータンク	1台
付属品	エアーコイルホース (G1/8xG1/8) 2.5m	1本
	エアブラシホルダー (固定用ねじ付き)	1個
	自転車バルブ（英式）	1個
	クイックジョイント（20SF相当）	1個
	キャップ	2個



ホビー用エアータンク CHIVITAN  
形式 CHST-02



この製品は高圧力を使用しますので、安全に関する注意を良くご理解いただきお使いください。

下記の警告の内容を怠った場合、人が死亡または重症を負う可能性が想定されることを示します。

## ⚠ 警告

安全な作業に関する内容を良く理解された方がのみが、この製品をお使いください。

- ・取扱説明書を注意深く読み、製品の正しい使用方法を完全にご理解いただくようお願いいたします。
- ・空気以外の気体は使用しないでください。
- ・エアータンクの最高空気圧力は0.45MPaです。この圧力を超えないようお使いください。
- ・エアーホースの脱着時、ドレン抜きバルブ開閉時は勢いよくエアーが吹き出る可能性があります。これによりホースが不意に飛んだり、ドレンが飛び跳ねたりすることがあります。取扱いには十分ご注意ください。
- ・作業中断時、作業終了時は必ずドレン抜きバルブを開き、タンク内のエアーと共にドレンを排出してください。ドレン抜きを怠ると、タンク内の錆を進行させたり、エアーにドレンが混じり、エアーツール・作業・品質などに悪影響を及ぼしたりすることがあります。ドレン水に起因する事故・故障・修理は保証対象外となります。
- ・エアーをタンクに充填すると圧縮によりエアー入口部が熱くなりますのでやけどにご注意ください。
- ・火気・可燃物・揮発性ガスのある場所では使用しないでください。
- ・風雨の当たる場所・直射日光の当たる場所・車内など暑くなる場所・粉塵が多い場所での使用・保管・放置はしないでください。
- ・高温・多湿の場所は避け、平らな安定した面に置いてご使用ください。
- ・医療機器・呼吸器・吸入器系の機器として使用しないでください。
- ・エアータンクの移動は丁寧に行い、タンクに傷や打痕を付けないようご注意ください。特に圧力の掛かった状態で外傷を受けるとタンクが破損することがあります。
- ・改造は絶対に行わないでください。

## ■取扱準備■

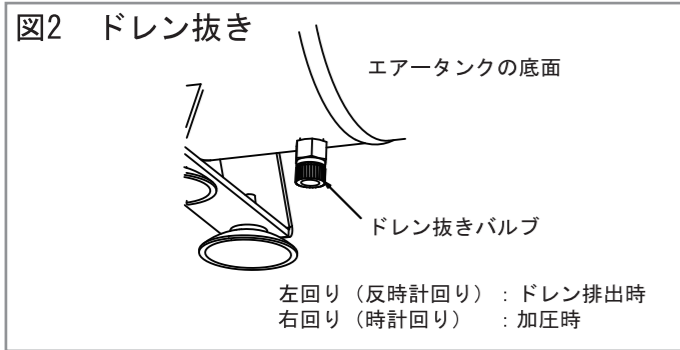
### 【最高空気圧力】

本製品の最高空気圧力は0.45MPaです。

この圧力以上での使用は危険です。万一、エアータンク内の圧力が上がり過ぎると、安全弁が作動し、自動的にタンク内のエアを抜く構造になっています。

### 【ドレン抜きについて】

エアを使用するとエアータンク内にドレン（大気中の塵埃や各種ガスおよび摺動部摩耗粉、水滴など）が溜まります。このドレンを放置するとタンク内の錆を進行させたり、エアにドレンが混じり、エアーツール・作業・品質などに悪影響を及ぼしたりすることがあります。ご使用後は必ずドレン抜きバルブを開き、エアと共にドレンを排出してください。ドレン抜きはエアータンク内にエアが少し充填されている状態で行なってください。目安は元圧0.1MPa以上です。ドレン抜きは使用する日は毎日行なってください。ドレンが抜けきったら、ドレン抜きバルブを閉じてください。



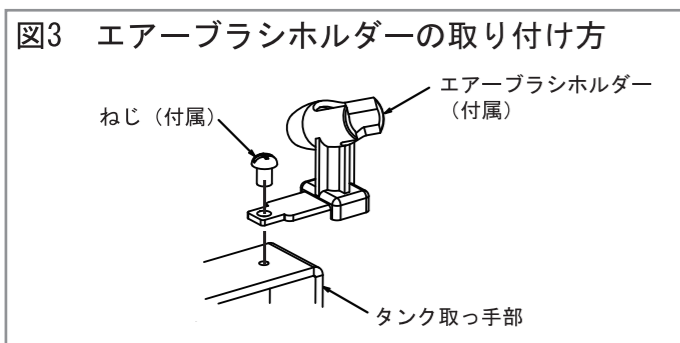
エアータンク内にドレンが混ざる場合、こまめにエアータンクとエアフィルタのドレン抜きを行なってください。

※ドレンによる故障や不具合などのトラブルは保証対象外となります。

### 【エアブラシホルダーの取り付け】

付属のエアブラシホルダーをエアータンク上部に取り付けて使用することができます。

付属のねじで取っ手に取り付けてご使用ください。（取付け用のドライバーは付属していません）



## ■取扱方法■

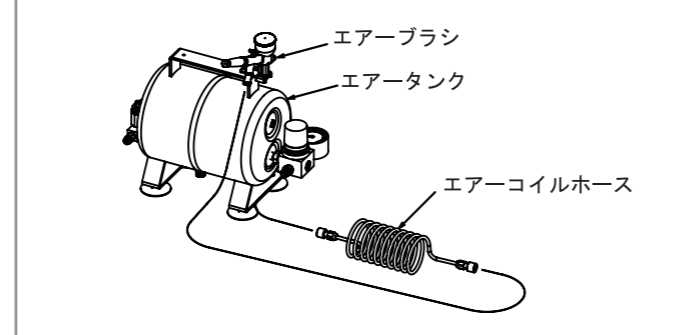
### 【エアータンクにエアをためる】

事前準備

エア出口のキャップを外し、エアコイルホースとエアブラシを接続してください。

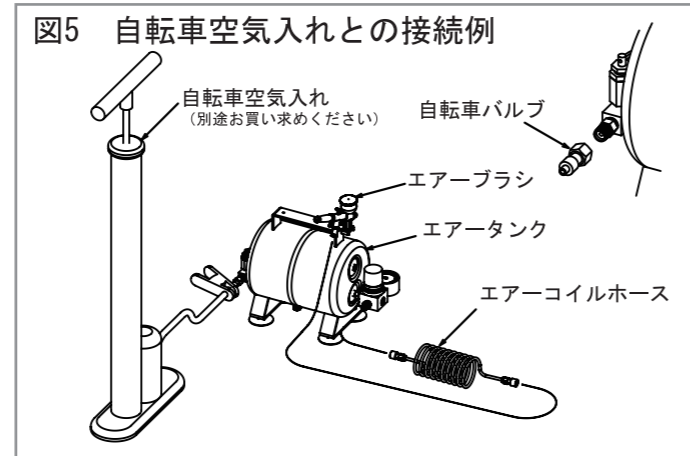
エアブラシを接続しないと、エア出口にバルブが付いていないので、エアが漏れてしまいます。（減圧弁の設定圧力がゼロ以上になっている場合）

図4 エアブラシとの接続



### ①自転車の空気入れを使用する場合

エアータンクにエアを溜めたら、出口側圧力は0.1~0.3MPaに減圧弁で調整してから、エアブラシによる塗装作業などを始めてください。エアータンク内にエアが溜まったら、出口側圧力は0.1~0.3MPaに減圧弁で調整してから、エアブラシによる塗装作業などを始めてください。エアータンク内にエアが溜まったら、出口側圧力は0.1~0.3MPaに減圧弁で調整してから、エアブラシによる塗装作業などを始めてください。エアータンク内にエアが溜まったら、出口側圧力は0.1~0.3MPaに減圧弁で調整してから、エアブラシによる塗装作業などを始めてください。

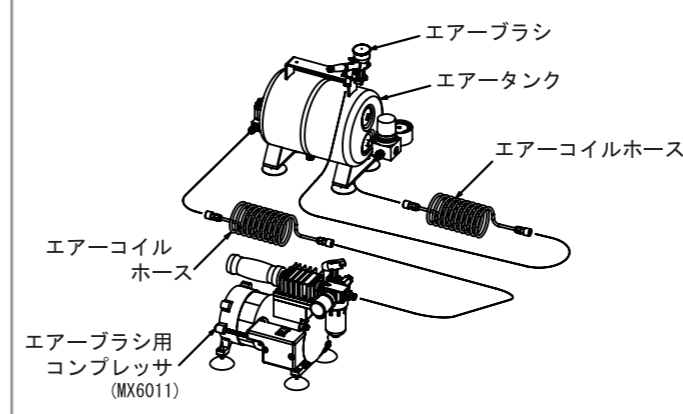


### ②エアブラシ用コンプレッサと接続する場合

エアータンクにエアを溜めたら、出口側圧力は0.1~0.3MPaに減圧弁で調整してから、エアブラシによる塗装作業などを始めてください。エアータンク内にエアが溜まったら、出口側圧力は0.1~0.3MPaに減圧弁で調整してから、エアブラシによる塗装作業などを始めてください。エアータンク内にエアが溜まったら、出口側圧力は0.1~0.3MPaに減圧弁で調整してから、エアブラシによる塗装作業などを始めてください。エアータンク内にエアが溜まったら、出口側圧力は0.1~0.3MPaに減圧弁で調整してから、エアブラシによる塗装作業などを始めてください。

他社製のコンプレッサを接続される場合、上限圧力が0.45MPa以下になるよう減圧弁・逃がし弁などで調整してください。逃がし弁方式と減圧弁が付いていないコンプレッサは自動停止しません。

図6 エアブラシ用コンプレッサとの接続例



### 【作業を実施する】

エアータンクにエアが溜まったら、出口側圧力は0.1~0.3MPaに減圧弁で調整してから、エアブラシによる塗装作業などを始めてください。

コンプレッサ・エアブラシの取扱いはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。

作業中にタンクを移動するとエアータンク内のドレン水がエアと共に吐出されることがありますのでご注意ください。

※出口側圧力は元圧（タンク内の圧力）より高くなることはありません。

### 【ご使用後のお手入れ】

作業終了後は加圧された状態で、ドレン抜きバルブからドレンとエアを抜いてください。

方法は【ドレン抜きバルブ】の項を参照ください。

### 【タンクを切り離して使用する場合】

エア充填したエアータンクを切り離してお使いいただくことも出来ます。エア充填後、入口側の接続を外してください。

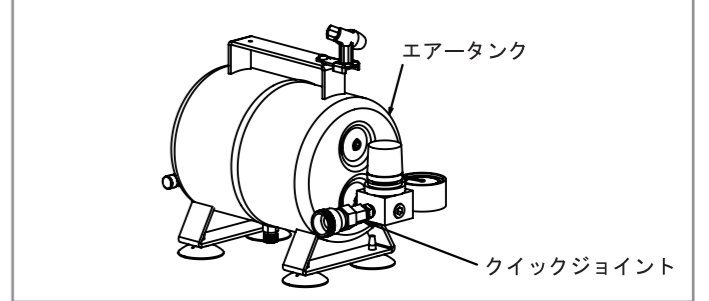
付属のクイックジョイントをお使いいただくとエアチャック（市販品）を介してボール・タイヤなどに空気補充することができます。

逆止弁はエア漏れが生じることがありますが、故障ではありません。

入口側の接続を外した後、接続ねじ保護とエア漏れ防止のためキャップを付けてください。

タンク内の空気圧力が下がりましたら再度充填をしてお使いください。

図7 エアチャックなど（市販品）と接続する場合



### 【エアホースを外す場合のご注意】

エアータンク内に圧力が溜まった状態でエアホースを外すとエアの力でエアホースが暴れて思わぬ怪我をすることがあります。エアータンク内のエアを使い切るか、減圧弁を左いっぱい回しきり出口側圧力が0になったのを確認してからホースを外してください。

### 【保管】

必ずエアータンク内のエアを空にして保管してください。（圧力計（入口側）が0MPaの状態）

ドレン抜きバルブからエアを抜ききることでドレン水も排出されます。ドレン水が残っていると、エアータンク内の腐食（錆）で穴が開き使用不能になることがあります。

風雨の当たる場所、直射日光の当たる場所、車内など暑くなる場所、塵埃が多い場所での使用・保管・放置はしないでください。

※エアータンク内にエアを溜めたまま絶対に保管・放置しないでください。

## ■基本仕様■

タンク容量	2 ℓ	
最高空気圧力	0.45 MPa	
安全弁作動圧力	0.5 MPa	
接続 口径	空気入口	G1/8(S)
	空気出口	G1/8(S)
寸法 (長さx幅x高さ)	290x150x190 mm エアチャックを含む高さ230	
質量	1.8kg	